



学習支援がスタート

5年生の家庭科で手縫いの学習でマスク作りを行いました。

初めて針を持ち、真っ直ぐに縫うこと、玉結び、玉止めをくり返してマスクの形になっていくと、子どもたちのやる気も増していきます。地域の方、保護者の皆さんに班ごとにサポートしていただき、わからないことを教えてもらいながら、時間いっぱい取り組むことができました。

ご参加いただいた、及川友希様、島貫英理子様、渡辺まなみ様、花坂友美様、安藤久美子様、新山麻理様、林本孝子様、山口久美子様、ありがとうございました。



新型コロナウイルス感染症対策にともない、学校行事が例年通りには実施できず、変更や延期になっています。5月の運動会も延期となりました。

今後も状況によって行事の実施についての判断が行われ、中止や延期となる場合があります。

また、例年ボランティアの参加をお願いしていた行事についても、ボランティア募集をみあわせているものもあります。早く感染が終息し、いつものように地域の皆様に学校に来ていただける日を、心から待ち望んでいます。



読み聞かせも再開

感染症対策のために見合わせていた読書ボランティアふらわ～さんの読み聞かせが6月から始まりました。

今年は昼休みではなく、朝の読み聞かせとして各学級を巡回していただいています。お話によって読み方を変えたり、小道具を使ったり、楽しく伝える工夫をしていただいている読み聞かせを、子どもたちはとても楽しみにしています。鳥居昌子様、いつもありがとうございます。

今年も安全に！

始業式以来、交通指導員、スクールガードの皆さんに毎日続けて通学路の見守りをしていただいています。

新入生の下校指導にも付き添っていただき、道路の歩き方、横断歩道の渡り方など何度もご指導いただきました。

大きな交差点や橋など、交通量の多いところや見通しの悪いところを重点に、低学年の下校時刻にも目を配っていただいています。

おうちの方には、お休みの日にお子さまと一緒に通学路を歩いて、危険な場所がないか確認することもおすすめします。

1年間、安全に通学しましょう。



社会に開かれた教育課程 (1)

2020年度から新しい学習指導要領で学びがかわります。学校で学んだことが子どもたちの「生きる力」となり、日常生活でいかされ、ともに生きる未来を創る原動力となることを願っています。

そのために「社会に開かれた教育課程」の実現をめざします。学校だけでなく、保護者や地域の人も力をあわせて、学校教育を通じてよりよい社会を創ることを目標にすえています。

地域学校協働活動、コミュニティ・スクールは学校と地域を結び、お互いの理解を深め、地域で育てたい子どもの姿をともに考える基盤となります。子どもを育てる教育に地域も深く関わっていく必要があるのです。

【問い合わせ先】

山口小学校地域学校協働本部

電話 62-2723

地域コーディネーター 佐々木良恵